

令和8年3月27日

国土交通省関東地方整備局

企画部

関東技術事務所

## 建設技術展示館のリニューアルについて

～一般公開に先駆けて近隣住民・報道関係者向けのプレオープンを開催します～

現在、建設技術展示館では、展示内容を一新し、最新の建設技術を分かりやすく紹介する展示ブースに加えて、VR技術やマイクラフト等の多様な体験型コンテンツを通じて、建設技術をより身近に感じられる展示内容へとリニューアルする工事を行っており、令和8年5月28日より一般公開を開始します。

これに先立ち、日頃よりご協力いただいている地域の皆さまを対象としたプレオープンおよび、報道関係者向けの記者内覧会を実施します。

### 1. プレオープンおよび記者内覧会

(1) プレオープン（近隣在住の児童生徒・学生とそのご家族を優先）

期間：令和8年5月12日（火）10時から5月16日（土）15時まで

(2) 記者内覧会（報道関係者向け）

開催日時：令和8年5月12日（火）10時から12時まで

### 2. リニューアルオープン式典および一般公開

開催日：令和8年5月28日（木）

当日のスケジュール：

・リニューアルオープン式典 10時から11時まで（受付開始9時30分）

・一般公開 11時から

・特別講演 11時30分から12時30分まで

講演名：建設DX最前線 - 専門家・データ・AI、誰を拠り所にするのか -

講演者：CIVIL CREATE 株式会社 代表取締役 CEO 川西 敦士 氏

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ  
千葉県政記者会 松戸記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 企画部 施工企画課

電話：048-601-3151（代表） FAX：048-600-1389

建設専門官 大根田（内線：3456）

関東地方整備局 関東技術事務所

電話：047-389-5121（代表） FAX：047-330-6276

副所長 菅（内線：205）

たのしいがミライをつくる



建設技術展示館

Construction Technology Exhibition Hall

令和8年

5月28日(木) RENEWAL OPEN



- ◆ 防災・減災やDX技術・i-Construction2.0、GX技術など約80社が集結し、最新の建設技術を見て・触れて体感できます。
- ◆ マインクラフト、建設機械ラジコン、ドローンなど、子どもから大人まで楽しめる体験型コンテンツを新たに用意しました。

## 10:00 リニューアルオープン式典

- ◆ オープニング演奏 まきのほら 松戸市立牧野原中学校吹奏楽部
- ◆ 主催挨拶 関東地方整備局長
- ◆ 来賓挨拶 松戸市長
- ◆ 記念合唱 まきのほら 松戸市立牧野原小学校合唱部  
ときわだいら 松戸市立常盤平中学校合唱部

## 11:00 展示館一般公開

特別講演 11:30~12:30

建設DX最前線

-専門家・データ・AI、誰を拠り所にするのか-

CIVIL CREATE株式会社 代表取締役CEO かわにし あつし 川西 敦士 氏



※時間及びプログラムは予定につき、変更となる場合があります。

# プレオープン・記者内覧会

近隣住民向け・報道関係者向けのご案内

令和8年5月12日(火) 10:00 START

## プレオープン(近隣住民向け)

- ◆ 対象：近隣在住の児童生徒・学生とそのご家族を優先します
- ◆ 期間：令和8年5月12日(火)10:00～16日(土)15:00
- ◆ 特別開館：期間中の平日は閉館を17:00まで延長(通常10:00～16:00)  
土曜特別開館:令和8年5月16日(土)10:00～15:00

## 記者内覧会(報道関係者向け)

- ◆ 開催期間：令和8年5月12日(火) 10:00～12:00  
取材を申し込まれる方は、メール本文に氏名(ふりがな)・所属(会社名)・連絡先(電話番号、アドレス)を記載のうえ、(ktr-tenzi-info@mlit.go.jp)までご送付ください。

## 楽しく学べる施設に一新

【最新技術展示】



- ◆ 展示コーナー  
最新の建設技術が身近に感じられるわかりやすい展示
- ◆ 体験コーナー  
家族や友人同士で参加できるような体験コンテンツを充実

【新たな体験コンテンツ】



マイクラフト土木体験



建設機械ラジコン体験



遠隔シミュレーター体験



ドローン操作体験



【交通】JR武蔵野線新八柱駅または京成電鉄八柱駅下車・路線バス②番牧の原団地行「建設技術展示館」下車徒歩2分

お問い合わせ

建設技術展示館事務局

[mail] ktr-tenzi-info@mlit.go.jp

[TEL] 047-394-6471

[H P] <https://www.kense-te.go.jp/>



①東京 JR京葉線快速(武蔵野線直通) 新八柱

②東京 JR山手線/京浜東北線 上野 JR常磐線 松戸 京成松戸線 八柱

バス 牧の原団地行 約8分 建設技術展示館 徒歩2分 運行間隔約10分

関東技術事務所

# 建設技術展示館 出展者及び展示技術一覧

テーマ	ブース番号	出展者名	展示技術名
防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術	A-01	CDM研究会	『CDM工法』セメント系 深層混合処理工法
	A-02	株式会社建設技術研究所	レーザー打音検査装置 Laser Induced Breakdown Spectroscopy(LIBS)装置
	A-03	西田鉄工株式会社	水門設備の遠隔制御システム、ダム用水門更新・更生・補修技術
	A-04	株式会社技研製作所	インプラント工法
	A-05	一般社団法人日本建設保全協会	スーパーホゼン式工法 他
	A-06	株式会社竹中土木	スマートコラム工法
	A-07	株式会社トクヤマアートブロックLABO	環境対応型舗装ブロック
	A-08	株式会社ガイアート	延長床板システムプレキャスト工法
	A-09	鹿島道路株式会社	補修三兄弟
	A-10	東洋建設株式会社	ワンダーコーティングW-MG(マリンガード)
	A-11	岡三リビック株式会社	「多数アンカー用NDパネル」
	A-12	西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	道路を支える調査点検技術
	A-13	NTTアドバンステクノロジー株式会社	設備の劣化を防ぐ技術
	A-14	日鉄神鋼建材株式会社	落石・土砂防護工ハイジュールネット/落石予防工ハイテンネット
	A-15	一般社団法人IPH工法協会	IPH工法(内圧充填接合補強)
	A-16	基礎地盤コンサルタンツ株式会社	リモセンによる道路防災危険箇所の抽出・モニタリング
	A-17	株式会社高知丸高	SqCピア工法鋼管栈橋及びピン接続SqC長尺橋梁工法
	A-18	泉建設工業株式会社	塗布後2時間養生のシラン系表面含浸材IZW.Shield(いず・しーるど)
	A-19	中央開発株式会社	CIマップ、感太郎
	A-20	シバタ工業株式会社	土砂捕捉スクリーン&流木スクリーン
	A-21	株式会社東設土木コンサルタント	橋の点検デジタル化と判定支援AIによるこれからの維持管理
	A-22	株式会社IHIインフラシステム	水門の保全・運用を高度化/効率化する技術
	A-23	大林道路株式会社	橋梁レベリング層用グースアスファルト「eグース」「eグース・スーパー」
	A-24	オープンシールド協会	オープンシールド工法
	A-25	株式会社安藤・間	自己治癒防菌低炭素コンクリート、スラスラ工法
	A-26	オート化学工業株式会社	コンクリート構造物目地の長寿命化技術
	A-27	文化財石垣・石積擁壁補強技術協会	石積擁壁耐震補強対策工法
	A-28	株式会社プロテックエンジニアリング	杭式土石流・流木対策工
	A-29	一般社団法人河川ポンプ施設技術協会	排水ポンプ
	A-30	高松コンストラクショングループ(青木あすなろ建設株式会社、みらい建設工業株式会社、東興ジオテック株式会社)	次世代インフラ保全技術群
	A-31	配水用ポリエチレンパイプシステム協会	水道配水用ポリエチレンパイプ(HPPE管)
	A-32	金森藤平商事株式会社	構造物の長寿命化を図るNUKOTE(ニューコート)ポリウレタライニング工法
	A-33	一般社団法人セメント協会	土を固めるセメント系固化材
	A-34	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社	W-Dolphin64
	A-35	日鉄建材株式会社	スリットバリア

テーマ	ブース 番号	出展者名	展示技術名
防災・ 減災 等	A-36	日立建機日本株式会社	遠隔ICT施工対応油圧ショベルとGX建機
	A-37	建設無人化施工協会・建設無線協会	無人化施工技術
	A-38	JFE建材株式会社	「いのち」と「暮らし」を守る防災・減災商品
	A-39	川田建設株式会社	地下貯水槽「エコマモール」
	A-40	株式会社ニケ・ウイング	眩しくない低位置照明設備
	A-41	ジオ・サーチ株式会社	地中可視化サービス
	A-42	株式会社ヒロコーポレーション	タイル・石材剥離落下防止金物「ヒロ結合工法」
	小計	ブース数:42ブース(出展者数:42者)	
インフラ分野のDX技術・i-Construction2.0	B-01	福井コンピュータ株式会社	3Dを活用したDXソリューション
	B-02	新光重機株式会社	3DMGターボ法バケ転圧管理システム(法転マスター)
	B-03	株式会社きんそく	・ハカルに特化したDXシステムの紹介 ・地下の三次元化によるさらなる見える化
	B-04	酒井重工業株式会社	自動運転ローラARMs
	B-05	株式会社協振技建	現場再現を、誰でも、スマホで。
	B-06	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	ポンプ設備管理・点検管理のDX技術
	B-07	東急建設株式会社	PPCaボックスカルバート
	B-08	西尾レントオール株式会社	レンタルできる自動施工技術
	B-09	五洋建設株式会社	防水シート自動溶着・品質管理システム
	B-10	パワーブレンダー工法協会	柔らかい土(地盤)を固める工法～地震に強く壊れなくなる～全層鉛直攪拌方式
	B-11	日本基礎技術株式会社	自動削孔機(A-RPD、ABM-10)
	B-12	佐藤工業株式会社	低炭素型自己充填覆工構築システム
	B-13	株式会社奥村組	施工影響XRウォッチャー
	B-14	レフィクシア株式会社	高精度スキャンができるLRTK
	B-15	鉄建建設株式会社	コンクリート打設管理システム
	B-16	サン・シールド株式会社	XR技術(iVoRi 360とXR, つたろう)
	B-17	一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所	施工総研の建設分野のDX,GX技術
	B-18	西松建設株式会社	山岳トンネル無人化・自動化施工システム 「Tunnel RemOS(トンネル・リモス)」
	B-19	株式会社トプコンソキアポジショニングジャパン	MC-Maxショベル(チルトローテータ)
	B-20	株式会社NIPPO	N-PNnext
	B-21	東亜建設工業株式会社	ASYST(アシスト)
	B-22	株式会社熊谷組	AI制御による不整地運搬(クローラキャリア)の自動走行技術
	B-23	株式会社不動テトラ	不動テトラのICT活用
	B-24	日特建設株式会社	SGZAs,ドリルコンパス,DLAMs,Boretrack2
	B-25	首都高技術株式会社	橋やトンネルなどの健康診断(点検)
	B-26	株式会社東洋スタビ	「STB-ICT土質改良工法」
	B-27	Steelwrist Japan株式会社	チルトローテータ
小計	ブース数:27ブース(出展者数:27者)		

テーマ	ブース 番号	出展者名	展示技術名
インフラ分野の脱炭素化・GX技術	C-01	株式会社大林組	未来を拓く「低炭素型建設材料技術」
	C-02	清水建設株式会社	バイオ炭を活用した環境配慮型施工技術
	C-03	東京舗装工業株式会社	ダイヤツインECO
	C-04	グリーン産業株式会社	はまみどり・やまみどり
	C-05	大成建設株式会社	脱炭素・GX・DX技術
	C-06	前田道路株式会社	ecole(エコール)
	C-07	鹿島建設株式会社	鹿島のカーボンニュートラル技術
	C-08	EeTAFCON研究会	次世代コンクリートEeTAFCON(イータフコン)
	C-09	前田建設工業株式会社	低炭素型コンクリート「スーパーグリーン(SG)コンクリート」
	C-10	大日本土木株式会社	「RSSシート」/「ドクトールバイオ」
	C-11	株式会社鴻池組	Kcal®(ケイカル)/ Kcrete®(ケイクリート)
	小計	ブース数:11ブース(出展者数:11者)	
関係機関・地方公共団体・大学等	D-01	千葉県	建設現場の生産性向上と将来の担い手確保に向けた取組
	D-02	松戸市	松戸市における下水道地震対策
	D-03	日本大学理工学部交通システム工学科	日本大学理工学部交通システム工学科の研究・教育
	D-04	東京理科大学 マルチハザード都市防災研究拠点	インフラに携わる技術者の楽しさをゲームを通して体験
	D-05	国立研究開発法人土木研究所	インフラの多様な課題に資する土木研究所の開発技術
	D-06	国土交通省 国土技術政策総合研究所	社会の「これから」をつくる研究所
	D-07	国土交通省 国土地理院 関東地方測量部	標高成果の改定と『ジオイド2024日本とその周辺』
	D-08	関東地方整備局	事業概要
	小計	ブース数:8ブース(出展者数:8者)	
屋外展示	A-43	NTTアドバンステクノロジー株式会社	遮熱塗料サーフクール
	C-12	株式会社NIPPO	e-smart ROAD
	小計	ブース数:2ブース	
合計	ブース数:90ブース(出展者 82ブース(80者)、関係機関等 8ブース(8者))		